

マルチCD/MDコントロール
チューナーCDアンブ

目次 4ページ

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。

接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

DEH-P505



安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

[異常時の処置]

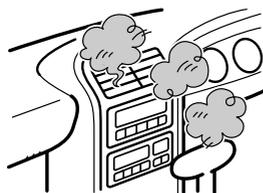
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 別売のメインコントローラーを使う 7

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 8
- 2 内蔵CDのふだんの操作 10
 - CDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 12
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 14
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 16
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 17
- 3 いつもと違う曲順で聞く 17
- 4 聞きたい曲をさがす 18
- 5 CD再生を一時中止する 19
- 6 CDタイトルを表示させる 19

ラジオ ラジオを聞く

- 1 複数の放送局を自動的に記憶させる 20
- 2 放送局を1局ずつ記憶させる 21
- 3 記憶させた放送局を呼び出す 21

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚) 22
- 2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚) 22
- 3 モードの切り換えかた 23
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 24
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 25
- 6 いつもと違う曲順で聞く 26
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 27
- 8 記憶させた曲だけ再生する 28
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 29
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 29
- 11 CDをグループ分けする (50枚) 30
- 12 グループ別で再生する (50枚) 31
- 13 CDをグループから消す (50枚) 31
- 14 CDのタイトルを記憶させる 32
- 15 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 33
- 16 タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚) 34
- 17 演奏頻度でCDを再生する (50枚) 35
- 18 CDのタイトルやグループを表示させる 35
- 19 CDの音質を調整する 36
- 20 CD再生を一時停止する 37
- 21 選んだCDを取り出す (50枚) 37

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

音の調節

音を調節する

- | | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | オーディオ調節モードの
切り換えかた | 38 |
| 2 | 低音を調節する | 38 |
| 3 | 高音を調節する | 39 |
| 4 | 前後左右の音量バランスを調節する | 39 |
| 5 | 前にステージがあるような
感じにする | 40 |
| 6 | 小音量時の音にメリハリをつける | 41 |
| 7 | 各ソースの音量の違いをそろえる | 41 |

その他

その他の機能と付録

- | | | |
|----|-------------------------|----|
| 1 | よく使う機能を学習させる | 42 |
| 2 | 交通情報を受信する | 43 |
| 3 | 時計を合わせる | 44 |
| 4 | 時計を表示させる | 45 |
| 5 | 初期設定モードの切り換えかた | 45 |
| 6 | 夜間のディスプレイの
明るさを切り換える | 46 |
| 7 | 外部機器の音声を聞く | 47 |
| 8 | テレビのときに
オートアンテナをのばす | 48 |
| 9 | 本機を初期設定に戻す | 49 |
| 10 | 故障かな？と思ったら | 50 |
| 11 | こんなメッセージが表示されたら | 52 |
| 12 | 保証書とアフターサービス | 53 |
| 13 | CDの正しい使いかた | 54 |
| 14 | 本機の操作の概要 | 56 |
| 15 | おもな仕様 | 58 |
| 16 | メモ | 59 |

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

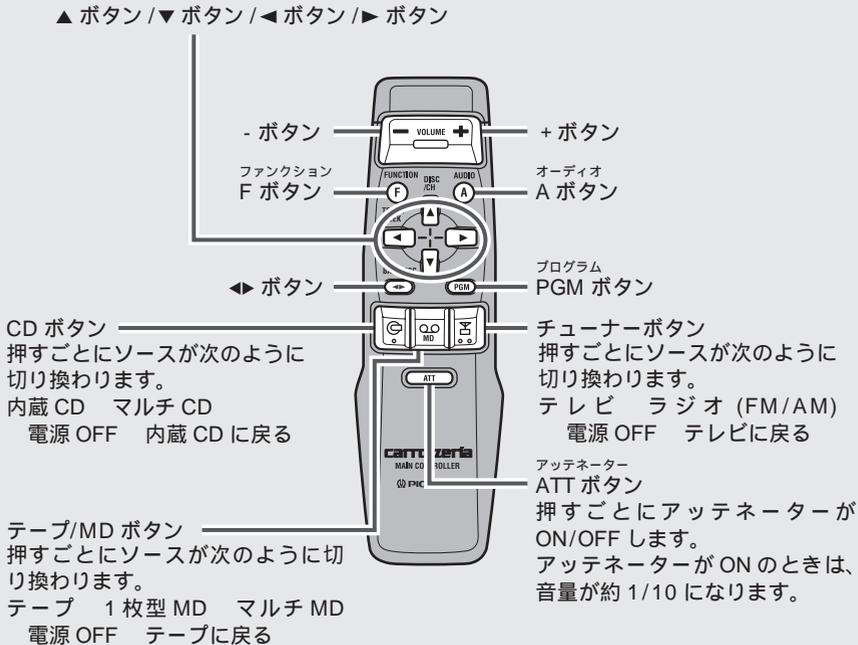
マルチCDでCDを聞く

音を調節する

その他の機能と付録

別売のメインコントローラー「CD-R66」について

別売のメインコントローラー「CD-R66」で、本機を操作することができます。メインコントローラーの取り扱いについては、メインコントローラーの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR77」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。

ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

ソースを切り換える

SO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

テレビ

ラジオ (FM/AM)

テープ

1 枚型 MD

マルチ MD

マルチ CD

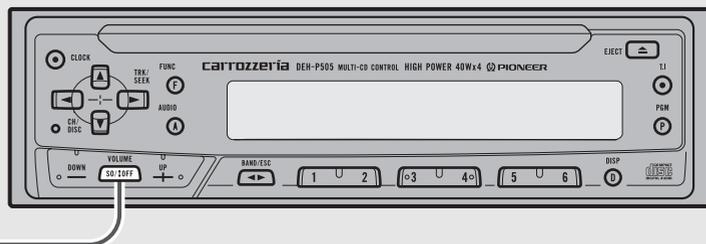
AUX (外部機器)

内蔵CDに戻る

電源を切る

SO ボタンを1 秒以上押す

本機の電源が切れます。



テレビ、テープ、1枚型MD、 マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書
をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P505」
テープ	「MDS-P505」
1枚型MD	「MDS-P505」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外
の製品を例にして、操作説明が行われて
いる場合があります。その製品と対応し
ているボタンで操作を行ってください。

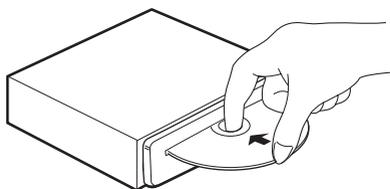
メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMD、テープがセットされていないときは、
そのソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (E37 その他 7 47 ページ) を
ONにしないと、AUXには切り換わりません。

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 CDを セットする

タイトル面を上にして、挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



再生経過時間

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 8ページ)

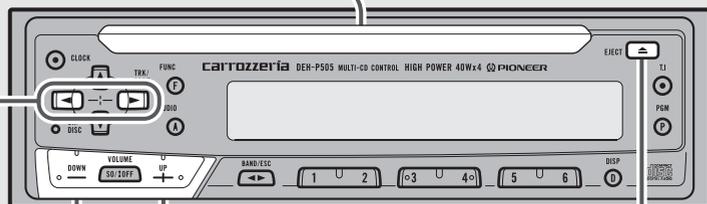
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

- + または - ボタンを押す
- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

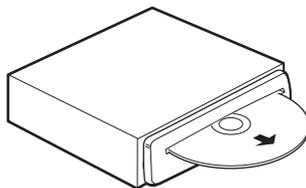


0 ~ 30 の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

- ▲ ボタンを押す
- CDが出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、
保管してください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SO ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信
すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

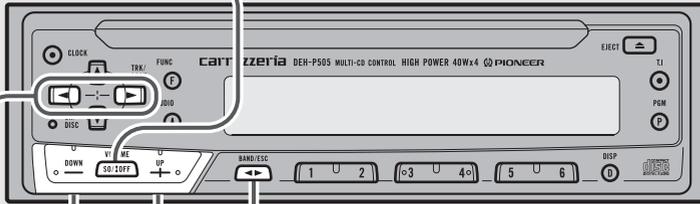
◀ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが
切り換わります。



FM1 FM2
AM2 AM1

FMとAMのどちらとも、より多くの放
送局を記憶できるように、1と2のバン
ドに分かれています。(受信できる周波
数は1と2のどちらも同じです。)



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒 ~ 2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続け ている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0 ~ 30 の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 8ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



再生経過時間

50 連奏マルチCD再生時のみ
表示されます。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次のCDを選ぶとき
- ▼ : 前のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCDを2台以上 接続したときは

再生するマルチCDを選ぶことができます。

◀ ボタンを押すごとに、次のマルチCD
の再生に切り換わります。



マルチCDの番号が約2秒間
表示されます。

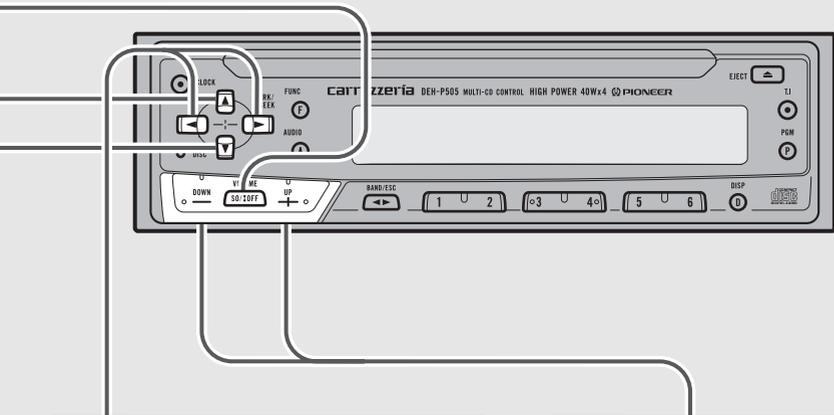
メモ

別売のIP-BUS 拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数のマルチCDを接続できます。接続できる台数については、IP-BUS 拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P630S」のように、2台以上接続することができないマルチCDがあります。)

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

50 連奏マルチCDを操作する場合は、準備動作が終了していないと“NOT READY”と表示され動作しない機能があります。その場合は、50 連奏マルチCD以外のソースに切り換えてください。その間に自動的に準備動作を行います。マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAG”が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 音量を 調節する

+または- ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

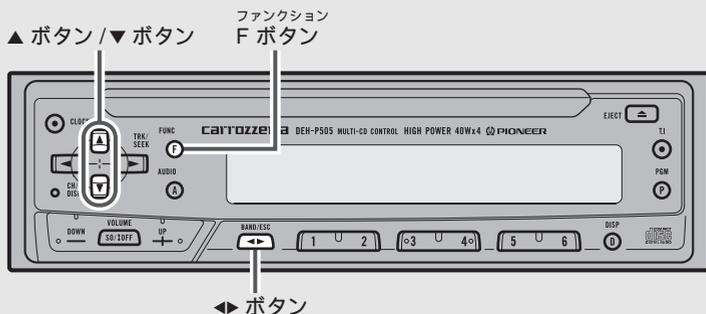


0~30の範囲で
調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 8ページ)



内蔵CD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクションモードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (E33 内蔵CD②)

ランダムモード (E33 内蔵CD③)

スキャンモード (E33 内蔵CD④ 18 ページ)

ポーズモード (E33 内蔵CD⑤ 19 ページ)

最初に戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

詳細設定モードにする

F ボタンを 2 秒以上押す

詳細設定モードを切り換える

F ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (E33 内蔵CD⑥ 19 ページ)

プログラムファンクション設定モード
(E33 その他① 42 ページ)

最初に戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、◀▶ ボタンを押します。

内蔵CD

2

同じ曲を繰り返し 返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞きことができます。

1 リピートモードにする

F ボタンを押して選ぶ

( 内蔵CD①)



2 リピート再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵CD

3

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムモードにする

F ボタンを押して選ぶ

( 内蔵CD①)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



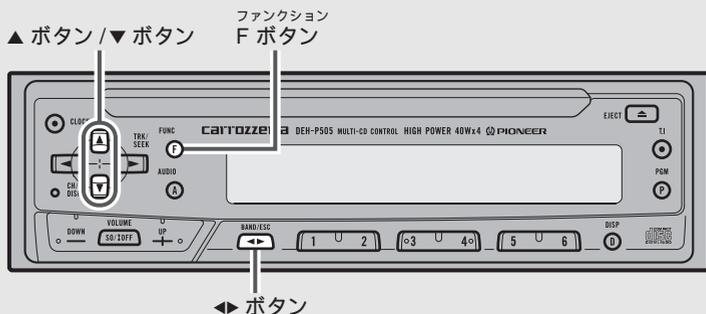
次の曲から、ランダムに選曲します。

◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

内蔵CDでCDを聞く



内蔵CD
4

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

F ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 16 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



◀▶ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 内蔵CD 16 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

CDのタイトルを表示させる

タイトル表示

CDのタイトルを表示させることができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかた(☞ マルチCD 32 ページ)タイトルの表示のしかた(☞ マルチCD 35 ページ)は、マルチCDと同じです。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせて使うときは、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する (☞ ここだけで 10 ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ 内蔵CD 16 ページ)



約2秒間表示されます。

3 CDタイトルを入力し、記憶させる (☞ マルチCD 32 ページ)

CDタイトル入力の手順3~5を参照し、同様の操作で記憶させてください。



▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

ラジオ
1

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

◀▶ ボタンを押す

2 BSM を始める

PGM ボタンを2秒以上押す
(PGM ボタンで途中解除)

記憶動作中に点滅します。



受信中の記憶番号

記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ③) ラジオでは、PGM ボタンにBSM以外の機能を学習させることはできません。

BSMはFボタンを使って操作することもできます。

放送局を 1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

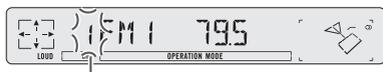
◀ ボタンを押す

2 記憶させたい放送局を選局する

◀ または ▶ ボタンを押す
(13 ここだけで 13 ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号（記憶番号）が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (13 ラジオ 13)

記憶させた放送局を 呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

◀ ボタンを押す

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

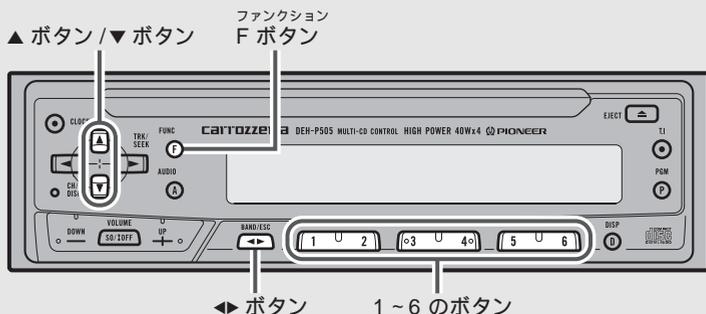
記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき





1 マルチCD 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

聞きたいCDを選ぶ

1~6のボタンを押す

2秒以内：1~6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7~12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

2 マルチCD おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1~5のボタンを押す

1：10~19枚目のCDを選ぶとき

2：20~29枚目のCDを選ぶとき

3：30~39枚目のCDを選ぶとき

4：40~49枚目のCDを選ぶとき

5：50、51枚目のCDを選ぶとき



CD番号

2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



CD番号

メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、“LOAD”が表示されます。(※ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD④ 24ページ)

タイトルリストモード

(☞ マルチCD⑮ 33ページ)

“ABC” ディスクタイトルサーチモード (50

枚) (☞ マルチCD⑯ 34ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD⑥ 26ページ)

スキャンモード (☞ マルチCD⑤ 25ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD③ 28ページ)

ミュージックグループ別モード (50枚)

(☞ マルチCD⑫ 31ページ)

演奏頻度別モード (50枚)

(☞ マルチCD⑰ 35ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD⑳ 37ページ)

COMP切り換えモード

(☞ マルチCD⑱ 36ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、◀ボタンを押します。

(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード

(☞ マルチCD⑭ 32ページ)

ITS入力モード (☞ マルチCD⑦ 27ページ)

ミュージックグループ別入力モード (50枚)

(☞ マルチCD⑪ 30ページ)

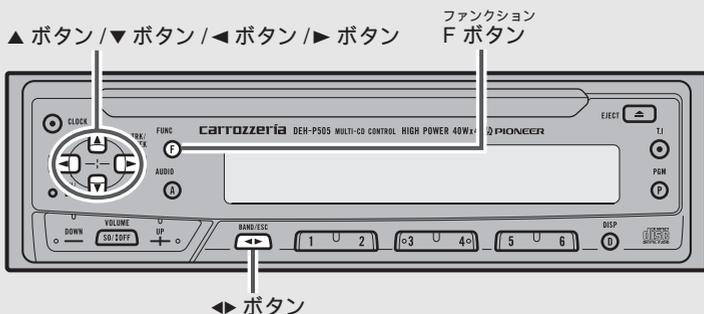
プログラムファンクション設定モード

(☞ その他① 42ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、▶ボタンを押します。



マルチCD
4

同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート(ALL)に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

1 リピートモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD ④ 23ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートを選んだ場合のみ表示されます

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして 再生範囲を選ぶ (E マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき

(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき

(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(E マルチCD⑤ 23ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に
表示されます。

スキャン再生の種類が表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生され たらスキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



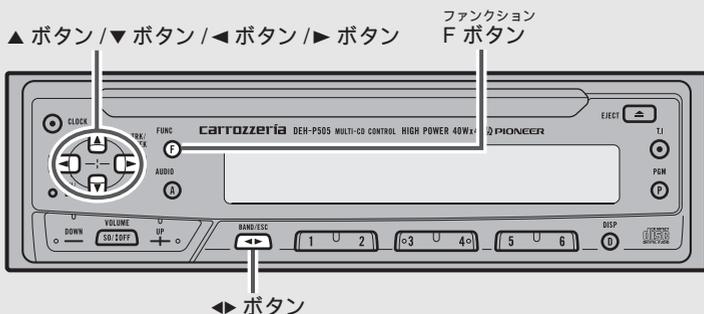
◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の、すべてのCDの1曲目だけが再生されます。

表示	再生範囲
T	ディスクリピート
D	マルチCDリピート



マルチCD
6

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD ④ 24ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ③ 23ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

選んだ再生範囲が表示されます。

表示	再生範囲
D	ディスクリピート
M	マルチCDリピート

メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、ランダム再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の曲がランダム再生されます。

記憶させた曲だけ再生する (※ マルチCD ⑧ 28ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (※ マルチCD ⑧ 28ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。CD1枚につき24曲まで記憶できます。

ITSは、タイトル (※ マルチCD ⑩ 32ページ)、グループ分け (※ マルチCD ⑪ 30ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないICDの中で、いちばん古いICDの記憶が消されて、新しいICDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 記憶させたいICDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(※ ここだけで④ 14ページ)

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (※ マルチCD ⑥ 23ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(※ ここだけで④ 15ページ)

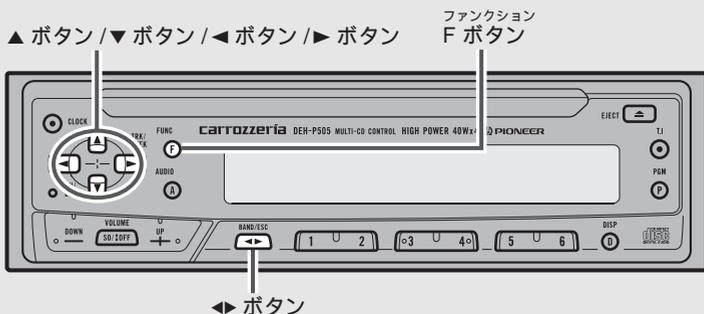
4 記憶させる

▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD
8

記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD 7 27ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD 4 24ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

Fボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 3 23ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS 再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD⑨)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 15ページ)

3 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD⑨ 23ページ)



4 消去する

▼ボタンを押す



記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 14ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。

2 ITS入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD⑨ 23ページ)



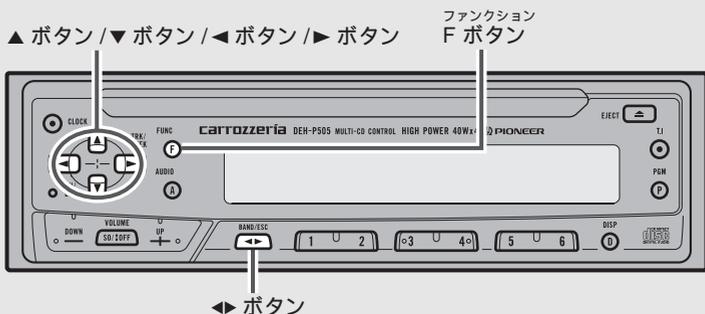
3 消去する

▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD
11

CDをグループ分けする (50枚)

ミュージックグループ別記憶

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (マルチCD⑫) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごとに記憶させておき、そのグループを再生する (マルチCD⑫) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、タイトル (マルチCD⑬ 32ページ)、ITS (マルチCD⑦ 27ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 グループ分けさせたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(ここだけで④ 14ページ)

2 ミュージックグループ別入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (マルチCD③ 23ページ)



約 2 秒間表示されます。

3 グループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだグループが点滅します。

次のようなグループがあります。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ROCK1 | ROCK2 | POPS1 |
| POPS2 | JAZZ | FUSION |
| CLASSIC | GROUP1 | GROUP2 |
| GROUP3 | | |

4 記憶させる

▲ボタンを押す



一度点滅が止まり、記憶したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

まだ、グループを選んでいないCDは、手順3のときに "NO GROUP" が表示されます。

マルチCD
12

グループ別で再生 する (50枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (E3 マルチCD ①) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 ミュージックグループ別 モードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD ② 23ページ)



2 聞きたいグループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選んだグループが表示されます。

3 ミュージックグループ別 再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ミュージックグループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

手順2で選んだグループにCDが記憶されていない場合は、“MG EMPTY”が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

マルチCD
13

CDをグループから 消す (50枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(E3 ここだけで④ 14ページ)

2 ミュージックグループ別 入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (E3 マルチCD ③ 23ページ)



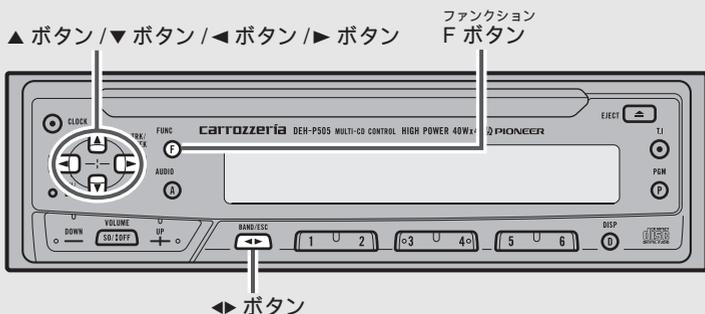
3 消去する

▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

◀▶ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 14 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD ⑩ 35ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ マルチCD ⑮) や “ABC” ディスクタイトルサーチ (※ マルチCD ⑯ 34ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (※ マルチCD ⑦ 27ページ)、グループ分け (※ マルチCD ⑪ 30ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDを内蔵CDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで④ 14ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (※ マルチCD ③ 23ページ)



約2秒間表示されます。

3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字は_ (空白)、A-Z (アルファベット)、* + , - . / (記号)、0~9 (数字) の中から選ぶことができます。

タイトル記憶 (つづき)

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶: 右に移動させるとき

◀: 左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は空白を入力して、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

◀ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に◀ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

マルチCD
15

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD 23ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶: 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀: 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。また、そのCDのCD番号が点滅します。

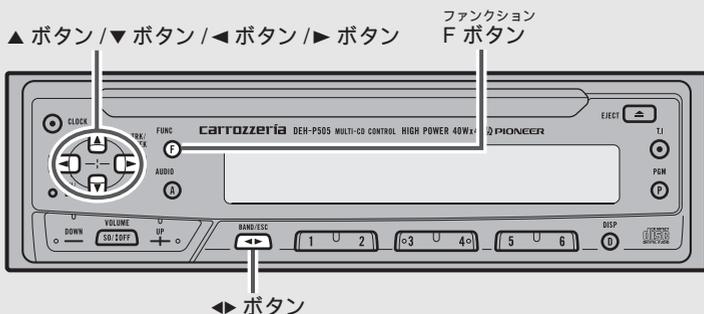
3 選んだCDを再生する

▶ボタンを押す



選んだCDが再生されます。(CDが切り換わっている間、点滅が止まります。)

◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



マルチCD
16

タイトルの頭文字でCDをさがす (50枚)

“ABC” ディスクタイトルサーチ

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 “ABC” ディスクタイトルサーチモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(マルチCD 23ページ)



約 2 秒間表示されます。

2 タイトルの頭文字を選ぶ

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲: 次の文字を選ぶとき
- ▼: 前の文字を選ぶとき



3 聞きたいタイトルを選ぶ

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶: 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀: 前のCDのタイトルを表示させるとき



次のCDのタイトルが表示されます。

4 選んだタイトルのCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ボタンを押すと解除され手順2に戻ります。
選んだ頭文字のCDがないときは、“NO TITLE”が約8秒間、点滅表示されます。

演奏頻度でCDを再生する (50枚)

演奏頻度別再生

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (MOST) または、あまりよく聞かないCD順 (LEAST) に再生する機能です。

1 演奏頻度別モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(マルチCD 23ページ)



2 頻度を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : MOSTを選ぶとき

◀ : LEASTを選ぶとき



選んだ頻度が表示されます。

3 頻度別再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



演奏頻度別再生が始まり、頻度順にCDが再生されます。

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



演奏頻度別再生中に表示されます。

CDのタイトルやグループを表示させる

ディスプレイ切り換え

タイトル記憶 (マルチCD 32ページ) で記憶させたCDのタイトルや、グループ分け (マルチCD 30ページ) されたCDのグループを、表示させることができます。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

曲番号/再生経過時間表示



タイトル表示



入力したタイトル

グループ表示

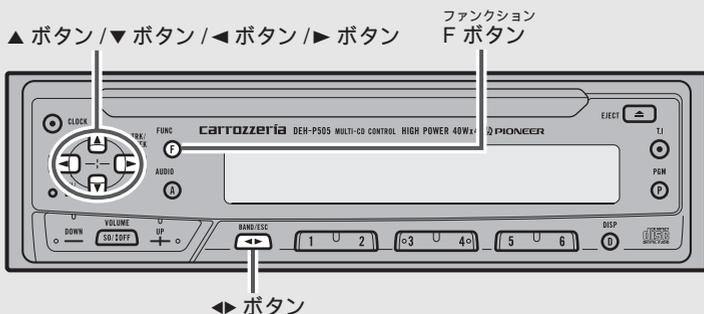


分けたグループ

曲番号/再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE” や “NO GROUP” が約8秒間、点滅表示されます。



マルチCD 19 CDの音質を調整する

コンプレッション / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック コンプレッション/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤー(「CDX-P620S」などで操作できます。

コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

Fボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD 23ページ)



現在のコンプレッション/DBEの状態が表示されます。

ご注意

コンプレッション/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF

COMP 1 (コンプレッション1)

COMP 2 (コンプレッション2)

OFF

DBE 1

DBE 2

最初のOFFに戻る

◀▶ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

コンプレッション、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止
する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 23ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



◀ ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中表示されます。

選んだCDを取り出す
(50枚)

CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 取り出したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで 14ページ)

2 CDをエクストラトレイに
移動する

◀ ボタンを2秒以上押す

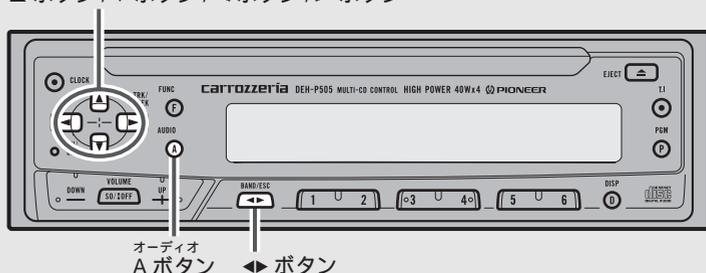
3 CDをエクストラトレイから
取り出す

CDの取り出しかたについては、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは動作しません。

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

音の調節
1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときには、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

オーディオ調節モードを切り換える

Aボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (オーディオ④)

低音調節モード (オーディオ②)

高音調節モード (オーディオ③)

ラウドネスモード (オーディオ⑥ 41ページ)

FIEモード (オーディオ⑤ 40ページ)

SLAモード (オーディオ⑦ 41ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、◀▶ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

別売のDSPカセット「KDS-P505」と組み合わせたときは、Aボタンを押してもオーディオ調節モードには切り換わりません。

音の調節
2

低音を調節する

パス

ソースごとに低音を強めたり弱めたりすることができます。

1 低音調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (オーディオ①)



2 低音を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



- 6 ~ +6 の範囲で調節できます。

◀▶ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

内蔵CDとマルチCDおよび1枚型MDとマルチMDは同じ設定になります。
交通情報 (オーディオ② 43ページ) も、1つのソースとして設定できます。

高音を調節する

トレブル

ソースごとに高音を強めたり弱めたりすることができます。

1 高音調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (E3 オーディオ①)



2 高音を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

◀▶ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

内蔵CDとマルチCDおよび1枚型MDとマルチMDIは同じ設定になります。
交通情報 (E3 その他② 43ページ) も、1つのソースとして設定できます。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (E3 オーディオ①)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：前を強めるとき

▼：後ろを強めるとき



前後のバランスは F15 ~ R15 の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶：右を強めるとき

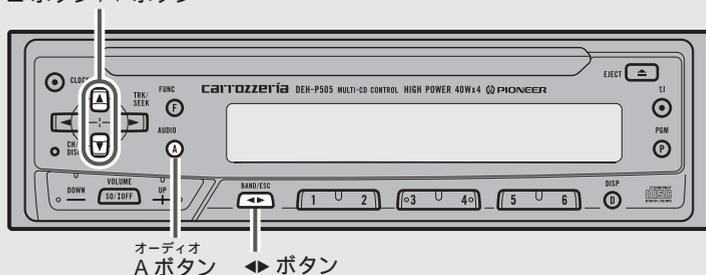
◀：左を強めるとき



左右のバランスは L9 ~ R9 の範囲で調節できます。

◀▶ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

▲ ボタン / ▼ ボタン

音の調節
5

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

Aボタンを押して選ぶ
(オーディオ① 38ページ)



2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FIE が ON のときに表示されます。

◀ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

3 前後の音量バランスを調節する (オーディオ④ 39ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。

FIEは内蔵アンプに対して働きます。後ろのスピーカーを外部アンプに接続している場合は、FIEは働きません。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ

(オーディオ ① 38ページ)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスが ON のときに表示されます。

◀ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOボタンを押す

(ここだけで ③ 12ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOボタンを押す

(ここだけで ① 8ページ)

3 SLAモードにする

Aボタンを押して選ぶ

(オーディオ ① 38ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



- 4 ~ +4 の範囲で調節できます。

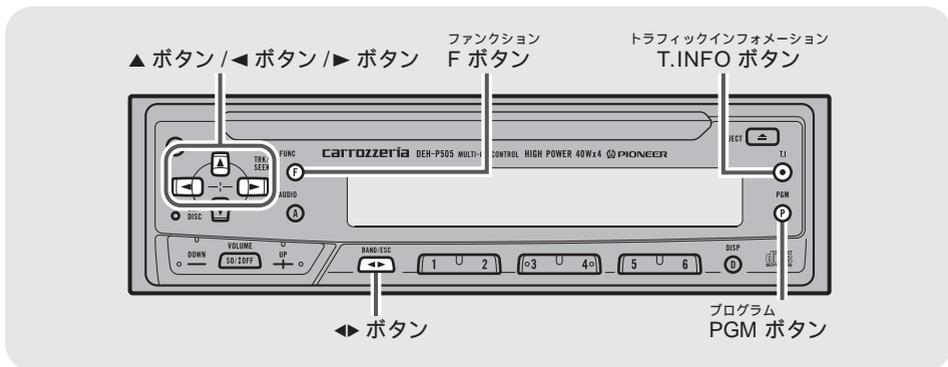
◀ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMからSLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、テープ、CD、MD、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDおよびAMと交通情報 (その他 ② 43ページ) は同じ設定になります。



その他 1 よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、PGM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵CDにポーズ、ラジオにBSM、マルチCDにポーズが学習されています。)

内蔵CDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



PAUSE (ポーズ)

REPEAT (リピート)

RANDOM (ランダム)

◀ ボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

4 学習させた機能进行操作する

PGM ボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	ON/OFF	-----
ランダム	ON/OFF	-----

プログラムファンクション (つづき)

ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
BSM	OFF	ON

マルチCD のとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、F ボタンを2秒以上押しして詳細設定モードにしてから、F ボタンで選びます。(E 23 ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	----
リピート	切り換え	----
ランダム	ON/OFF	----
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	----
ITS	記憶	再生

1

交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2

放送に合わせて 周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3

交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。



その他
3

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

時計を合わせる

1 「時」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 1 のボタンを押す

1 のボタンを押すごとに、1 時間ずつ進みます。

2 「分」を合わせる

CLOCK ボタンを押しながら 2 のボタンを押す

2 のボタンを押すごとに、1 分ずつ進みます。

3 0 秒からスタートする

CLOCK ボタンを放す

時計が 0 秒から動き始めます。

時報で時計を合わせる

時報で合わせる

時報に合わせて、CLOCK ボタンを押しながら 3 のボタンを押す

「分」が“00”になります。

例) 10 : 00 ~ 10 : 29 10 : 00

10 : 30 ~ 10 : 59 11 : 00

この操作により、時計の誤差を解消できます。

その他

4

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。

時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ON/OFF します。



時計表示

メモ

時計表示のときに時計合わせ (☞ その他③) 以外の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約 25 秒間で時計表示に戻ります。

その他

5

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマラーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SO ボタンを 1 秒以上押す

(☞ ここだけで① 8 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに、F ボタンを 2 秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

F ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

AUX (外部機器) モード

(☞ その他⑦ 47 ページ)

オートアンテナモード

(☞ その他⑧ 48 ページ)

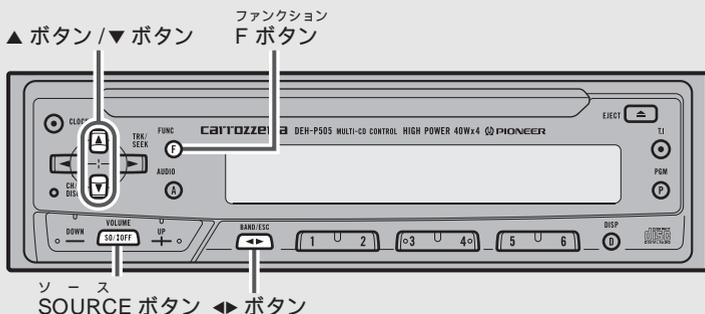
ディマラーモード (☞ その他⑥ 46 ページ)

AUX (外部機器) モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、◀ ボタンを押します。

(解除すると電源が OFF になります。)



その他
6

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ
(☞ その他⑤ 45ページ)



2 ディマーの設定をOFFにする

▼ボタンを押す(▲ボタンでON)



◀▶ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (E35 その他 45 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



◀ ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SO ボタンを押して選ぶ (E35 ここだけで 8 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

4 外部機器の名称入力モードにする

F ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

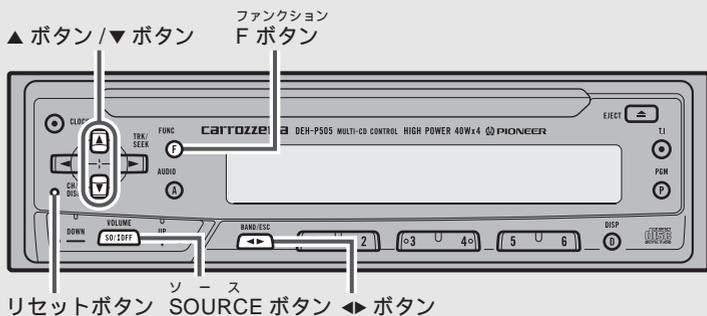
5 外部機器の名称を入力し、記憶させる (E35 マルチCD 32 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。



その他
8

テレビのときにオートアンテナをのぼす

オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (5.5型AVシステムTV「AVX-P505」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのぼすことができます。

オートアンテナの設定について

設定がOFFのときは、ソースをラジオにしたときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびるようになります。

ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

1 オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、Fボタンを押して選ぶ (※ その他 5 45 ページ)



2 オートアンテナの設定をONにする

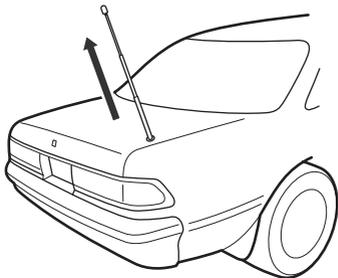
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



◀ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする

SOURCEボタンを押して選ぶ (※ ここだけで 1 8 ページ)



オートアンテナがのびるようになります。

本機を初期設定に戻す

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

本機のマイコンが初期状態に戻ります。

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットボタンし
てください。
(☞ その後④ 49 ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他⑫ 53 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで② 11 ページ) (☞ ここだけで③ 13 ページ) (☞ ここだけで④ 15 ページ)
	アッテネーターが ON に なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ はじめに② 7 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 39 ページ)
前または後のスピーカーか ら音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 39 ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節④ 39 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 13 ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑬ 55ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他⑬ 55ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 10ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください ( その他 10 55 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

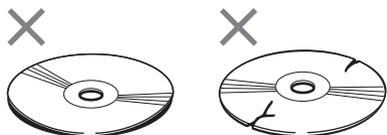
本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター (I・C) をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

使用できるCDについて

下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。

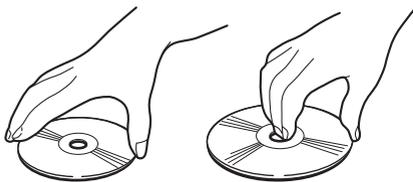


ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

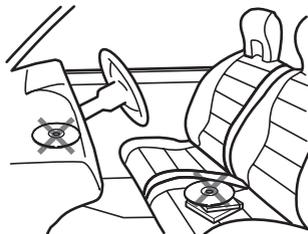


CDにキズを付けないでください。
CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

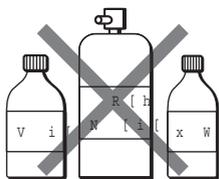
製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」(オプション)を用意しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよび◀▶ ボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき	テープを 聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局	早送り/巻き戻し、頭出し
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMD を接続している場合のみ)	記憶させた放送局の 切り換え	-----
◀▶ ボタン	マルチCDの切り換え (マルチCDを2台以上接 続している場合のみ)	バンド (FM/AM) の 切り換え	再生方向 (A面/B面) の 切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには4つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ調節 モード
1	それぞれのモードにする	F ボタンを押す	F ボタンを 2秒以上押す	電源がOFFの ときに、F ボタンを 2秒以上押す	A ボタンを押す
2	機能を切り換える	F ボタンを押す			A ボタンを押す
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す			
		◀または▶ ボタンを押す			
4	それぞれのモードを 解除する	◀▶ ボタンを押す			

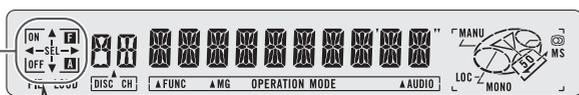
それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵CDのリピート再生 (E35 内蔵CD② 17ページ) やマルチCDのスキャン再生 (E35 マルチCD⑤ 25ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード** : PGM (学習) ボタンの記憶 (E35 その他① 42ページ) やマルチCDのタイトル入力 (E35 マルチCD⑬ 32ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (E35 その他⑦ 47ページ) やディママー (E35 その他⑥ 46ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (E35 オーディオ④ 39ページ) やパス (E35 オーディオ② 38ページ) /トレブル (E35 オーディオ③ 39ページ) など、音質に関する調節ができます。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。

F、A、▲/▼/◀/▶の中
で、操作可能なボタ
ンが表示されます。



表示の例

内容



▲/▼/◀/▶ボタンで操作できます。



▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。
また、Aボタンで機能を切り換えることができます。



◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。
また、Fボタンで機能を切り換えることができます。

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号
フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N : 90 dB
(1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック
レンジ : 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz

実用感度 : 11 dBf (1.0 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)

S/N 50 dB
感度 : 16 dBf
(1.7 μ V/75 、モノラル)

S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)

ステレオ

セパレーション : 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz

実用感度 : 18 μ V (S/N : 20dB)

実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・共通部

最大消費電流 : 8.5 A

最大出力 : 40 W \times 4

定格出力 : 20 W \times 4 (50 ~ 15,000 Hz 5 %
トーン
コントロール : パ ス : ± 12 dB (100 Hz)
トレブル : ± 12 dB (10 kHz)

ラウドネス
コンター : 10 dB (100 Hz)、7 dB (10 kHz)
(ポリウム : - 30 dB)

負荷
インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)

プリアウト
出力レベル : 500 mV

出力
インピーダンス : 1 k

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 50 (H) \times 158 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 46 (H) \times 11 (D) mm

質量 : 1.4 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1

取付ネジ類 : 1 式

取扱説明書 : 1

取付説明書 : 1

安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1997

< 97K00F0K01 >

< CRA2399-B >

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076